ペレットストーブ　設置手順書

2009.6　作成
豊臣工業株式会社

① 設置場所まで本体を置き、本体上に水平器を載せて水平になるようにアジャスタで調整する。（配管を組み上げて、本体と接合後でも可）



②排気口管に付いているパッキン 4 箇所に切れ込みを入れる。



③排気口管を止めるネジ 4 箇所を緩める。



④排気口管と穴付ブラケットが付いている 2 重管エルボ管とを取り付けてから、③で緩めたネジ 4 箇所に通して本体に 8mmスパナで締め付けて固定する。



※④で、排気口管と 2 重管エルボ管を取り付ける時の注意点として、目視で見ながら嵌める時、図のように O リングがはみ出たらやり直して、はみ出ないように組み付けて下さい。



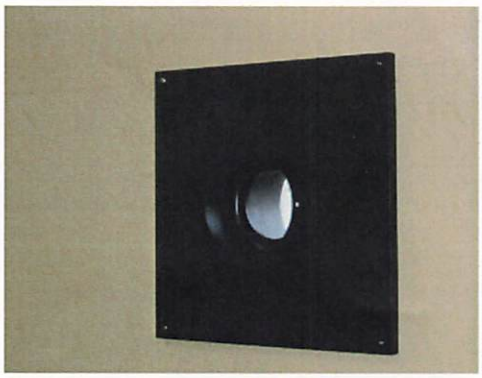
⑤排気筒・給気筒を外部に出す位置を選定し、排気筒用穴はφ150～160 のコアドリル等で壁を貫通させ、給気筒用穴はφ50 のホルソー等で壁を貫通させる。



⑥4 箇所ネジ止め位置箇所をマークし、アンカー等を打ち込む。(壁の材質次第では、不要)



⑦壁貫通材の内側を穴に通し、4 箇所ネジ止めする。
※水平器を当てて水平出ししてからネジ止めすること。



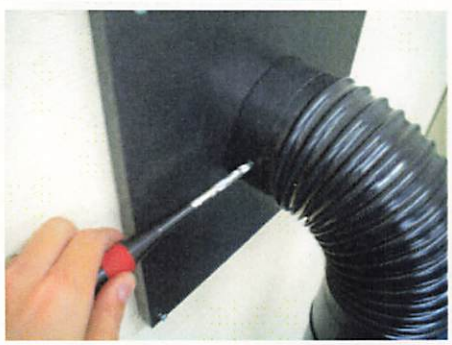
⑧壁貫通材の中央穴に単管 300mm(又は 450mmなど)を通す。



⑨2 重管(エルボ、ストレート)を壁貫通材にはめる。



⑩(垂直器で垂直出し後)壁貫通材にはめ込んだ箇所(1 ヶ所もしくは2ヶ所)に、黒染めの 4mmタッピンネジ、ドリルねじ等(長さ 10～15mm程度で可)をインパクトドライバー等で打ち込む。



⑪2 重管ストレート管及び、スライド管で本体側のエルボ管と、壁貫通材側のエルボ管の間に入れてはめ、垂直出しした後、配管外れないよう⑩と同様に 1 本タッピンネジを打ち込む。
※打ち込み位置は、管下端面よりおおよそ 10mm上の位置。



⑫(⑩同様垂直出しした後)エルボ管ブラケットの穴に 1 本タッピンネジを打ち込んで、排気口管と固定。



⑬(コーナー置きで本体の向きを変える時)壁貫通材側のエルボ管と 2 重管ストレート管とのはめ合い部を軸に本体を動かして向きを決めた後、⑪⑫同様 1 本ネジを打ち込む。



⑭:壁を通っている室内側の壁貫通材の筒に、室外側の壁貫通材の筒をはめながら、壁から外部へ飛び出している排気管(単管)を室外側の壁貫通材の中央穴に通した後、⑪⑫と同様にして壁貫通材を外壁に固定。



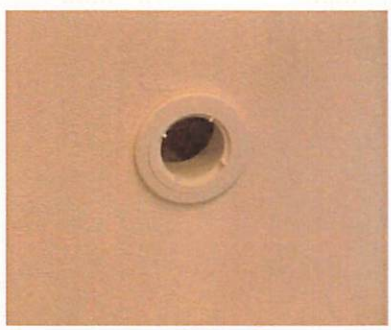
⑮:室外側の壁貫通材と排気筒の隙間を、耐火パテ等耐熱性のあるコーキング材で全周埋める。



⑯:室外側の壁貫通材の上部・左右側面の 3 箇所をシリコン等でコーキングする。(下部面はしないこと)
排気筒トップ(45 度エルボ網付)を取り付ける。
※向きは原則図のような垂直方向であるが、排気出口が上向きにならない程度で、施主要望があれば向き変更可。



※(仕上げを良くする場合、)
給気筒用穴の表裏にエアコン用等の化粧板をはめ込む。(コーキング材、またはパテ要)
※但しφ50 のもので穴貫通させるのであれば、給気筒を通してそのままコーキングでも可。



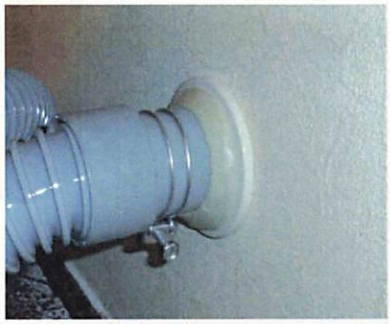
⑰給気筒トップを外側から内側へ通す。
※この時、室内側はダクトホースのはめ込みしろとして壁から約 5cm程度室内側に出すこと。
(余ったら、ノコギリ等でカットする。)



⑱:ダクトホースを本体側、給気筒トップ側に繋ぎ、+ドライバーを用いてホースバンドを締め付ける。



⑲:室内側の給気筒の周りをパテ等で全周塗布する。



⑳:室外側の給気筒の周りをパテ等で全周塗布する。



工事完成例





